

生徒の皆さんへ

令和元年度修了を迎えて

和歌山県立田辺工業高等学校

校長 三角 雅彦

生徒の皆さん、元気に過ごしていますか？感染症の拡大を防止し、皆さんの健康を守るために臨時休校となり3週間が経ちました。これまでに経験したことのない非常変災を乗り越え、一日も早く普段通りの学校生活に戻れることを皆さんとともに願っています。

このように大変な時期であっても季節は進み、桜の開花も今週中には見られそうです。いよいよ春爛漫の時期を向かえます。「春」という言葉の語源は、草や木の芽が脹らんでくる、つんと張ってくる、この「張る」が春となったという説があります。春は、新しいことが始まる、活力に満ちた、希望の季節です。

さて、皆さんは、令和の新しい時代を迎えた一年間を振り返って、学習において、クラブなど課外活動において、また、生活面において、思っていたような一年を過ごせたでしょうか？先日、卒業した先輩達は、皆さんに向けて、「しっかりと進路目標を持つこと」、「自分は何になりたいのか、何をしたいのか、早く決めれば決めるほど実現の可能性が上がる」、「自己PRできる資格取得や部活動、課外活動にしっかり取り組んでおこう」と応援メッセージを残して巣立っていきました。

これまで皆さんに話してきたこと、「**夢・思うは招く**」。夢・目標の実現を強く思い続ければ、目標に近づき、やがては、実現、達成できる。それを信じて、コツコツとやることが大切。当たり前前のことを続けてみるのが大事。それは習慣となり、しっかりと身につけていく。決して、楽しんで上手く行き続けることなどありません。努力すればチャンスは巡ってくる。努力しなければ、最初からチャンスはありません。努力は、裏切りません。もう一つ、身につけてもらいたいのは、「**時・場・礼を大切に**する」こと。企業や事業所の方が、採用に際してまず求めるのは、社会人としての基礎力。その最初に挙げられるのは、挨拶です。「自分から先に、明るく、元気な好感もてる挨拶」を身につける。そして、「時間を守る」、「整理整頓する」、「服装、姿勢を整える」。「時・場・礼を大切にすること」を心がけ、新学期からも、自分磨きに努めてください。

「**春植えざれば、秋実らず**」。春に種を蒔かなければ、花は咲くことなく、秋に実がなることもない。何事も実行・努力なしには、待っていても良い結果は生まれない。新年度に備え、この1年間を今一度振り返り、希望と活力に満ちた季節から一歩踏み出す有意義な春休みを過ごしてほしいと願っています。

現時点においても感染リスクがあることから、こまめな手洗い、換気、咳エチケットの励行や不要不急の外出を控えるなど予防対策をとるとともに、交通事故等には十分に気をつけて、4月の離任式・始業式には、元気に登校する皆さんに会えることを楽しみにしています。